

きたきゅ〜 北Qみらい NO.17

通巻第59号



【発行】
〒806-0021
北九州市八幡西区黒崎3丁目15-3
コムシティ5階
北九州市立聴覚障害者情報センター

【連絡先】
TEL 093-645-1216
FAX 093-645-3335
E-mail
kitakyu-video@wel-tobata.jp

報告1：第65回全国ろうあ者大会 in FUKUOKA 平成29年6月1日(木)～4日(日)

6月1日(木)～4日(日)の4日間、福岡県にて全国ろうあ者大会が開催されました。私は最終日に行なわれた大会式典に参加しました。約4,200人の参加者で、ろう者同士、何十年振りの再会に抱き合ったり、握手をしたり、ハイタッチしたりと、見たことのない満面の笑みで喜び合って懐かしそうでした。

今大会は全日本ろうあ連盟創立70周年記念ということもあり、秋篠宮両殿下のご臨席を賜り、殿下からご挨拶いただきました。

また、来賓の県知事や市長、厚生労働省大臣代理の方と、ほぼ全ての方々が、手話付きでご挨拶をしてくださり会場は大きく湧きました。世界ろうあ連盟、アジアろうあ連盟の理事の方々も来日されており、ステージ中央の大型スクリーンの横には国際手話のワンプが映し出され、興味深かったです。その他にも、那須英彰(なすひであき)氏の一人芝居、県内5つのろう学校の太鼓やパーカッションなどのパフォーマンスがあり、とても感動しました。

来年の開催地は大阪です。ぜひ、みんなで参加しましょう! <職員>



(左) 大会式典の様子 (右) 大会のマスコットキャラクターたち

報告2：「アイドラゴン4」贈呈式

平成29年6月3日(土)

福岡県で行われた全日本ろうあ連盟創立70周年記念と第65回全国ろうあ者大会に併せて、様々な企画・行事が開かれました。3日(土)の午前中、評議員会にて、日本テレビ「24時間テレビ」より聴覚障害者



(左) 贈呈式の様子 (右) 贈呈を受けた団体の代表者が集まり記念撮影

情報保障支援機器の贈呈式で、活動団体の聴覚障害者協会及び全国聴覚障害者情報提供施設などから各代表者が参加しました。

8月中旬には、全国41箇所の施設に「アイドラゴン4」が設置される予定です。



接続例



報告3 : 全国聴覚障害者情報提供施設協議会

平成29年6月8日(木)

「全国聴覚障害者情報提供施設協議会総会及び施設大会に参加して」

6月に茨城県水戸市で開催された総会及び施設大会は、51施設の参加により、シンポジウム「電話リレーサービス、遠隔手話サービス」についても盛大に議論がなされました。

震災時や離島等での利用のメリットを聞いた際には、必要性を強く感じましたが、遠隔手話サービスを含め入札や手話通訳制度への影響、24時間サービスなど、課題も多く含まれることを知りました。情報提供施設としてIT支援は欠かせない支援であると同時に、地域の利用者が求めるサービスとの格差、ITだけが独り歩きして行かないよう、さらに学習していく必要性を感じました。



紹介1 : 働く聴覚障害者 ~ イオン八幡東店・米田 静江さん ~

イオン八幡東店で働く米田 静江（よねだしずえ）さんを紹介します。



制服姿の米田さん

Q. どのような仕事をしていますか？

最初は服の商品化を担当しました。トラックから商品を降ろし、店舗へ持って行き、陳列用ハンガーにかけるという作業です。約3年が過ぎた頃、手の痛みがひどくなり異動希望を出しました。その後は、食品売り場にて農産と加工（グロッサリー）を担当しています。現在の主な仕事は、食品の賞味期限を確認し廃棄分別する作業と、専用の機械をバーコードにかざして価格をチェックする担当をしています。毎週火曜日はネット注文対応のため、9時、11時、13時の計3回、注文のあった果物の選別作業を行なっています。

Q. 職場には米田さん以外に聴覚障害のある人はいますか？

いません。他部署ですが、知的障害と発達障害のある方は働いています。

Q. 職場でのコミュニケーション方法は？

主に筆記です。相手の唇の動きで言っていることが分かる時もあります。自分から言いたいことは、声でも伝えます。

Q. 仕事中に工夫していることは？

メモとペン、「耳が聞こえません」などが書かれたカードを必ず持ち歩いています。カードは、後ろから話しかけてきたお客様に気付かず怒らせてしまったことがあり、上司へ相談したところ、すぐに会社が作ってくれました。いつも仕事中は持ち歩き、聞こえないことのお客様を怒らせてしまった時には、すぐに見せて対応しています。

Q. 勤続10年目とのことですが、長く続けられた理由は？

会社にもお客様にも聞こえないことを理解してもらった上で仕事をしています。異動したばかりの時は、心配した上司が後ろから付いて来てフォローしてくれたり、今ではお客様に言われた内容が分からない時は同僚と一緒に来て対応してくれたり、とても助かっています。また、聞こえないからこそ「見る力」があるのか、商品チェック時に不備に気付くことが多く、同僚から「気づいてくれて助かる」と喜ばれることもあります。助けてもらうだけではなく、お互いに協力することが大切だと思います。

Q. 最後に、一言、お願いします。

聞こえない人が働くということは、やはり大変なこともあります。商品を探していたお客様を売り場まで一緒に案内して、最後に「ありがとう」と言われると、とても嬉しいです。仕事は大変ですが、私は仕事が嫌だとは思いません。これからもがんばって働きたいです。



永年勤続10年の表彰状と一緒に♪



インタビューに手話で答える様子

米田さん、今回は全てを掲載できませんでしたが、いろいろなお話をありがとうございました。

＜聞き手：センター職員＞

報告4 : 情報提供事業「おやじの弁当」

平成29年5月15日(月)



今回は、食事の準備は奥さん任せ、一人暮らしで市販の惣菜で済ませたりしている男性を対象に、料理をすることの楽しさを知ってもらうことを目的に開催しました。栄養士さんを講師に、食中毒の注意などを含め、手話で楽しく指導していただきました。みなさん真剣に取り組み、美味しいお弁当ができました。



調味料選び。味は？どれにする？



卵焼きに挑戦！上手にできるかな？



いろいろなお弁当ができました♪

報告5 : 聴覚(視聴覚)障害者情報センター職員合同研修 平成29年6月11日(日)

「対人コミュニケーションの基本技術」というテーマで九州産業大学の倉知延章(くらちのぶあき)先生からお話を聞きました。

コミュニティワーク(地域援助技術)について聞こえない人が地域で暮らしやすくなるためには何が大切か。また、対人援助の難しさなどを詳しく、わかりやすく学ぶことができました。



情報センターの事務所に来られる方々は通訳依頼だけではなく、日常生活の様子を話しに來られたり困りごとの相談に來られたりします。この研修を職員全員が今後の来館者の対応に役立てたいと思います。



職員全員で相談の受け方を実習中

情報1 : 日本語字幕付き上映日の映画案内 (7月・8月)

『忍びの国』 ※1日1回以上上映

▶字幕上映日
7月19日(水)~7月22日(土)

『メアリと魔女の花』 ※1日1回以上上映

▶字幕上映日
7月23日(日)~7月26日(水)

『劇場版
ポケットモンスター キミにきめた!』 ※1日1回以上上映

▶字幕上映日
8月2日(水)~8月5日(土)

『ジョジョの奇妙な冒険 ダイヤモンドは砕けない 第一章』 ※1日1回以上上映

▶字幕上映日
8月20日(日)~8月23日(水)



◆お問い合わせ

T・ジョイリバーウォーク北九州
〒803-0812
北九州市小倉北区室町1-1-1
リバーウォーク北九州デコシティ4F

◆連絡先

TEL:093-573-1569
FAX:093-573-1653

◆MAIL

kitakyushu@t-joy.net



報告6：派遣事業の件数 出ー夕 (専任手話通訳者、盲ろう者通訳・ガイドヘルパー、要約筆記者)

専任手話通訳者

	個人	団体	計
4月	238	6	244
5月	220	10	230
6月	252	8	260
総計	710	24	734

盲ろう者通訳・ガイドヘルパー

	個人	団体	計
4月	19	0	19
5月	19	0	19
6月	19	0	19
総計	57	0	57

要約筆記者

	個人	団体	計
4月	8	5	13
5月	16	5	21
6月	18	7	25
総計	42	17	59



ビデオ制作のコーナー



紹介2：新入荷DVD (手話・字幕付き)

「おしえてタモちゃん！～合理的配慮ってなに？～」(50分)

障害のある人が障害のない人たちと同じように保障されるとともに教育や就業、社会生活において平等に参加できるよう、それぞれの障害特性や困りに合わせて行う配慮のことです。聴覚障害者の平等な社会参加の実現に向けて、聴覚障害者、関係者、行政関係者ほか多くの皆さまにDVDを少しでも役立てていただければ幸いです。

【内容】

- ①聴覚障害についての無理解
- ②ちょっとした(簡単な)配慮もしない
- ③音声のみの情報しかない
- ④音声によるコミュニケーションの強制



編集後記：北九州市が誇る伝統の織物「小倉織」

小倉織は、縞(しま)模様が美しい織物です。江戸時代には和綿を栽培し、綿花を手で紡ぎ、手織りされていました。百姓が木綿しか着てはいけなかった時期があったこともあり、丈夫で長持ちする小倉織の生産は全国各地へ広まりました。しかし、明治時代には輸入された安価な紡績糸による機械織りが主流となり、大正時代以降には地元での手織り生産は衰退していったそうです。

約30年前に小倉織の研究が始まり復元され、小倉織協議会による新たな創作が続けられています。現在は普及活動として市民向け講座も行われています。講座では、講義(小倉織の歴史や縞の特徴など)と実技(綿から糸へ紡ぎ、糸を染め、糸データを作り、実際に織る)を教わることができます。かくいう私も講座を受講中です。古い歴史を大切にしながら、さらに新たなことに挑戦する講師のみなさんの姿勢を見習いたいと思います。



貸出状況の出ー夕

	貸出人数	貸出本数
4月	5	11
5月	6	16
6月	26	64
総計	37	91